

これからの時代に求められる資質・能力を育むための
カリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究

静岡県教育委員会における カリキュラム・マネジメント調査研究

静岡県総合教育センター

「有徳の人づくり」を進めています
静岡県教育委員会

1 静岡県教育委員会における 教育課程編成・時間割編成の考え方

「有徳の人づくり」を進めています
静岡県教育委員会

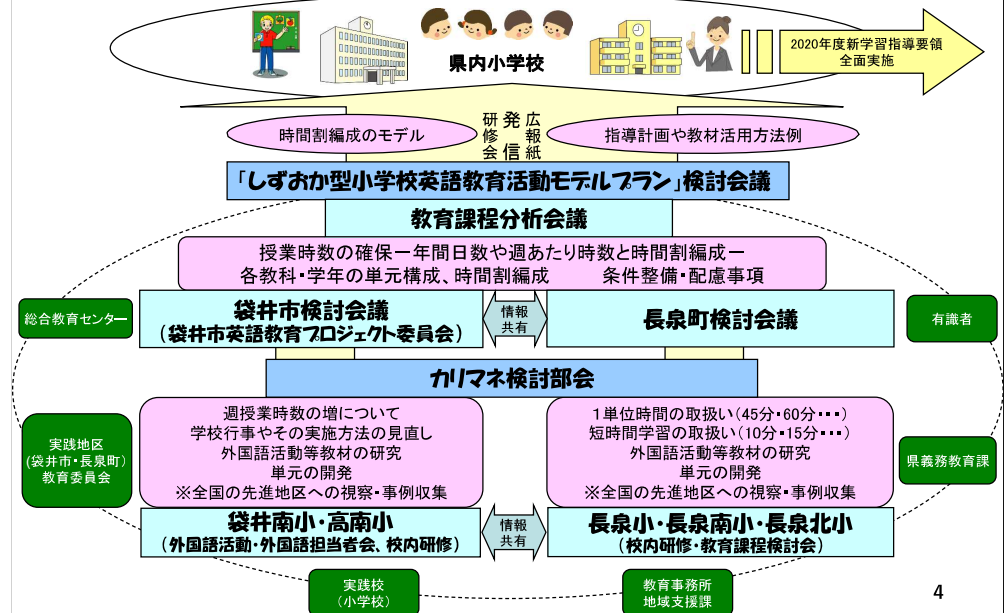
本日の内容

- 1 静岡県教育委員会における教育課程編成・時間割編成の考え方
- 2 実践校の研究
- 3 平成30年度の研究

「有徳の人づくり」を進めています
静岡県教育委員会

「しずおか型小学校英語教育活動モデルプラン」開発事業

各地域や学校の実情に応じた多様な時間割を編成するにあたり、しずおか型のモデルプランを開発・発信していくことで、各学校が独自の教育課程編成及び教育効果を高めるための指導計画、教材等のあり方を検討できるようにする。



県内外の教育課程編成・時間割編成の事例収集 教育課程分析会議

事例A 年間授業日数の増加
吉田町教育委員会 (吉田町立小中学校) 6時間授業日の削減及び4時間授業日の設定を可能に
年間授業日数 平成28年度 206日 → 平成29年度 210日

事例B 短時間授業 (朝:国語)
裾野市立富岡第二小学校 短時間授業に適した教科の検討

事例C 短時間学習 (外国語活動)
京都市立第四錦林小学校 外国語を短時間授業で行う効果の検討

事例D 長時間授業
藤枝市立朝比奈第一小学校 長時間授業に適した教科の検討

事例E 午前5時間授業
焼津市立黒石小学校 児童の授業時間増と教員の執務時間増の検討

事例F 午前5時間授業
西伊豆町立賀茂小学校 学校・家庭・地域の連携の検討

事例G 45分授業のコマを一つ増やす
袋井市立袋井南小学校 学校行事の見直し

事例H 45分授業のコマを一つ増やす
長泉町立南小学校 大切にしたいことを残すための日課表の話し合い

＜平成30年度の教育課程編成 (英語教育の先行実施) に向けて＞

5月 ①教育課程編成に係る校内研修会
「45分授業のコマを一つ増やすだけでは、多忙化が進み、必要な会議や話し合いの時間が確保できない」→日課表・教育課程(年間計画)の見直し

＜教職員による単直な意見交換＞

- 児童の休み時間の確保、委員会活動の充実、安全な下校時刻の維持など無理のない学校生活環境を守りたい。
- 自校の特色である朝の15分(みなみタイム)を使った読書推進、体力増進の機会は極力残していきたい。
- 月本会の6時間の日の日課は変えない。コマ増やす火曜日の日課の検討

②各学年における検討→主任教諭協議

6月 運営委員会・職員会議での検討

7月 運営委員会・職員会議での方向性決定

- 火曜日の日課:午後の活指をなしとし、朝の会を短縮する。
- 行事の見直し:家庭訪問・個別面談の在り方、みなみタイムの使い方

9月5日(火)、12日(火)、26日(火)の3日間の試行

10月 試行の振り返り

- みなみタイムのあり方をもう一度見直すことを話し合う。

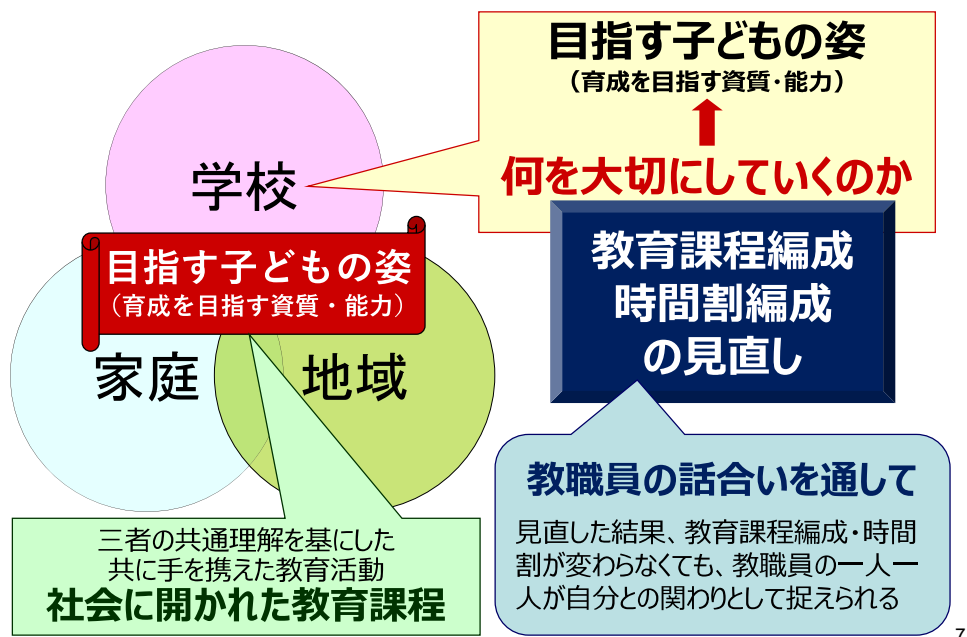
平成30年度以降の教育課程編成・時間割編成に向けて

市町教育委員会及び学校において、組織的・計画的な教育の質的向上を図るカリキュラム・マネジメントの考え方に則り、児童生徒や学校・家庭・地域の実態を踏まえて決定していく。



これまでの踏襲ではなく、**学校教育目標** 実現の視点から「**見直す**」ことが大切

静岡県教育委員会の教育課程編成・時間割編成の考え方



2 実践校の研究

＜静岡県実践校＞

- 長泉町立長泉小学校
- 長泉町立南小学校
- 長泉町立北小学校
- 袋井市立袋井南小学校
- 袋井市立高南小学校

「有徳の人づくり」を進めています
静岡県教育委員会



長泉町の研究

<長泉町実践校>

長泉町立長泉小学校
長泉町立南小学校
長泉町立北小学校



【特産品】あしたか牛

人口 43,185人 世帯数 18,022世帯
2018年4月1日現在

平成29年度の研究

教育課程・時間割編成の
研究と試行
外国語活動の授業づくり

授業日数：206日

平成30年度の研究

教育課程・時間割編成の
効果検証
外国語活動の授業づくり

授業日数：208日

長泉町立長泉小学校

児童数：1046人
学級数：33学級
教員数：45人
(平成30年4月1日現在)



学校教育目標
自ら考え 高め合いながら 伸びる子

重点目標
進んで かかわり合う子

目指す子どもの姿

- <キーワード> 進んで かかわり合う
- 考えてかかわり合う
自分の考えや思いを相手に伝える子
- 感じてかかわり合う
相手の立場に立って行動できる子
- 汗してかかわり合う
目標をもって頑張りぬく子



長泉町立南小学校



児童数：796人
学級数：33学級
教員数：35人
(平成30年4月1日現在)



学校教育目標
夢のある子

重点目標
めあてをもってがんばる子

目指す子どもの姿

- 思いやりのある子
(あいさつ・感謝の表現・責任を果たす・互いのよさを認め合い、共に伸びようとする)
- 進んで学ぶ子
(なかまとともに学ぶ喜びを感じる・進んで学習に取り組む・読書)
- 心と体をきたえる子
(進んで体力づくりをする)

長泉町立北小学校

児童数：898人
学級数：30学級
教員数：39人
(平成30年4月1日現在)



学校教育目標
感じ かかわり やる気いっぱい 北小の子

- ◆卒業式で中学校に入学してからの夢や目標を自分の言葉で語る子供◆
- 感じ：五感で情報を得る力
- かかわり：自分の考えを表現し伝える力
- やる気いっぱい：意欲的に実践していく力

目指す子どもの姿

- ・何事にも意欲的に取り組む子供
- ・「わかる」に支えられた知識・技能を使い、伝えることができる子供
- ・参加から参画へ、そして自立する子供
- ・しあわせを運ぶ挨拶ができる子供
- ・平和を愛する子供



袋井市の研究

<袋井市実践校>

袋井市立袋井南小学校
袋井市立高南小学校



【特産品】
クラウンメロン

ラグビーワールドカップ2019開催地 (エコパスタジアム)
ふくろい まるごと インターナショナル Hello from Fukuoi

平成29年度の研究

教育課程・時間割編成の
効果検証
外国語活動の授業づくり

予備時数を活用した
外国語教育

平成30年度の研究

教育課程・時間割編成の
よりよい工夫改善
外国語活動の授業づくり

市内全小学校 (12校) での
外国語活動の先行実施

袋井市立袋井南小学校



児童数：588人
学級数：24学級
教職員数：32人
(平成30年4月1日現在)

学校教育目標
ともに かがやく子

重点目標

- 考え表現する力
- チャレンジする力
- 人を大切にする心

教育課題 (目指す子どもの姿)

- ・主体的に考え表現する力、チャレンジする力、人を大切にする心を育てる。
- ・自己有用感、自己肯定感に基づく自信を持たせる。

袋井市立高南小学校



児童数：440人
学級数：19学級
教職員数：28人
(平成30年4月1日現在)

学校教育目標
夢に向かって 笑顔で ともに伸びようと
する子

重点目標
絆づくりと居場所づくりで「学校が楽し
い」と言える児童を増やす

目指す子どもの姿
(知) 進んで学び合う
(徳) 進んでつながり合う
(体) 進んでできたえ合う

実践校の研究の内容

(1) 短時間 (15分) 授業を実施する
長泉町立北小学校

(2) 週時数を1コマ増やす
長泉町立南小学校
袋井市立袋井南小学校
袋井市立高南小学校

(3) 週時数の1コマ増+15分の活用
長泉町立長泉小学校

(1) 短時間授業の実施【長泉北小】



短時間授業を実施する (H29実施)

3～6年生：週3回、朝15分の短時間授業を実施

8:10～8:25 国語【火・第1・3金】

算数【水・第2・4金】

※8:00始業 (8:00～8:10朝の会)



短時間授業の効果・改善点を検証する

- ・子どもにとって効果的な学習ができるよう研修を進める。
- ・子どもにとって効果的な学習ができたか検証を進める。

17

(1) 短時間授業の実施【長泉北小】成果と課題

子どもの視点から

- 短時間のため、基礎的・基本的な内容に子どもが意欲を維持して取り組むことができる。
→**スピード感のある授業により子どもの集中力が切れない。**
- 漢字・計算練習を繰り返し行うことができるので、基礎的内容の定着につながる。
→**触れる機会・頻度の充実が記憶の定着に有効。**
(1日45分の反復学習より1日15分の反復学習を3回)
- 繰り返しの指導により、**初見・初読の文を俯瞰し、一読で大体的内容を把握する力が身に付く(国語)。**
→全国学力・学習状況調査の対応力アップや読書の楽しみにつながる。

18

(1) 短時間授業の実施【長泉北小】成果と課題

教職員の負担の視点、校務運営の視点から

- 日課を大きく変更せずに授業時間数増に対応できる。**
- 放課後の時間を確保でき**、研修時間や事務処理時間を確保できる。
- 基礎的・基本的な知識技能を短時間授業で定着することができる。
- 全校体制で計画的に行うことが難しい。
 - ・全校一斉で曜日ごとに短時間授業の教科を決める。
→教科の進捗と教科内容が合わない。
 - ・学年学級ごと教科内容の進捗に合わせて短時間授業を進める。
→計画的な指導ができず、時数管理が難しい。
- 思考場面を取り入れた短時間授業を充実させていくための教材開発
- 事前に**教材研究や準備の時間を十分確保する必要**がある。

19

(2) 週時数1コマ増【長泉南小】研究の内容



週時数を1コマ増やす (H29試行→H30実施)

- ・4～6年生：週28コマ→週29コマ
- ・3年生：週26コマ→週27コマ



週時数を増やすことの効果・改善点を検討する

- ・週1時間増が子ども・教員・保護者・地域にとってどのくらい有効なのか、改善点はどこか検証する。
- ・学校の特色ある活動、子どもの成長に有効な活動を維持しながら、1時間をどのように生み出すか考える。

20

(2) 週時数1コマ増【長泉南小】成果と課題

子どもの視点から

- ・1回目の試行では、清掃をカットしても1時間増の負担を子どもが感じた。下校時刻が遅くなる日が増える現実を改善することが求められた。2回目の試行では、概ね子どもの反応はよかった。

教職員の負担の視点、校務運営の視点から

- 教職員全員で話し合うことにより、多くのアイデアが生まれた。
- 教職員全員の教育課程への参画意識が大いに高まった。**

地域との関係の視点から

- 学校が大切にしている地域や保護者に支えられている活動が減少したり、不具合が生じたりすることはなかった。

21

(2) 週時数1コマ増【長泉南小】検討過程

<平成30年度の日課決定に至る校内検討>

- 5月 ①カリキュラム・マネジメント(教育課程編成・日課検討)校内研修
②各学年における検討→主幹教諭集約
- 7月 9月試行日課に向けての学年主任者会
- 9月 **第1回試行 9月5日(火)、12日(火)、26日(火)の3日間**
試行日課に関する職員アンケート
- 10月 学年主任者会
(職員アンケート結果を受けた第2回試行日課の原案作成)
校内検討会(アンケート結果による日課検討・大学教授招聘)
- 12月 教育課程研修
- 2月 **第2回試行 2月5日(月)～2月9日(金)の5日間**
試行日課に関する職員アンケート
- 3月 平成30年度教育課程(日課)最終決定

22

(2) 週時数1コマ増【長泉南小】検討過程

<平成30年度の日課決定に至る校内検討>

- 5月 ①カリキュラム・マネジメント(教育課程編成・日課検討)校内研修
②各学年における検討→主幹教諭集約
・1コマ増える火曜の午後に清掃なしにして、下校時刻を早める。
・朝活動の時間は子どもの指導や理解に有効。大切にしたい。
- 7月 9月試行日課
・他の6時間の日より30分下校が早い分、子どもの疲れは少ない。
・休み時間はつぶれないが、慣れないため慌ただしく感じる。
・支援の必要な子どもは下校時刻の違いに慣れなかった。
- 9月 **第1回試行 9月5日(火)、12日(火)、26日(火)の3日間**
試行日課に関する職員アンケート
・子どものためには安定した日課にするべき。
・高学年なら第1回試行の日課でよいが、学校全体を考えると朝活動の時間をカットしていく。
※慣れているものは変えにくい、変えたら慣れるようみんなで協力する。増やす分、何かを削る必要もある。
- 10月 学年主任者会
(職員アンケート結果を受けた第2回試行日課の原案作成)
校内検討会
・朝活動の時間をカットし、朝清掃を行う。
・集会や読み聞かせは水曜を朝清掃なしにして行う。
・これにより下校を早め、毎日同じ日課とすることができる。
- 12月 教育課程研修
- 2月 **第2回試行 2月5日(月)～2月9日(金)の5日間**
試行日課に関する職員アンケート
- 3月 平成30年度教育課程(日課)最終決定
・今回の日課は6時間の日でも余裕がある。
・子どもにも好評。放課後が有効に使える。
・話合いの結果、よい新日課となったのでは。工夫改善は必要。

(2) 週時数1コマ増【袋井南小・高南小】 研究の内容



週時数を1コマ増やす(H29実施)

- ・4～6年生：週27コマ→週28コマ(+委員会・クラブ活動)
- ・3年生：週26コマ→週27コマ

※予備時数を用いて、外国語活動を実施する。

【3・4年生：週1単位時間、5・6年生：週2単位時間】



児童及び教員の負担について検証する

学校行事やその実施方法の見直しを行う。

外国語活動の移行期間中の年間指導計画の作成 を行う(H29)

24

(2) 週時数 1 コマ増【袋井南小・高南小】 成果と課題

子どもの視点から

- 外国語活動を45分授業で1コマ増加したことで、**子どもの生活や学習のリズムを変えずに、同じ時間配分を維持することができた。**
- 5・6年生では、週に2時間外国語活動を実施することができ、子どもの外国語活動への興味関心が高まった。
- 外国語活動を楽しんでいる子どもが多かった。**
- 時数が増えたことにより多少、負担に感じた子どももいたが、全体的に負担は大きくなかった。

25

(3) 週時数を1コマ増+15分の活用【長泉小】 研究の内容

週時数を1コマ増やす (H29実施)

- ・4～6年生：週28コマ (+ 委員会活動)
- ・3年生：前期のみ週27コマ



短時間・長時間授業を検討する (H29試行)

朝活動の時間を15分間 (8:10～8:25) にする。



- ・短時間授業を週3回行う。
- ・朝活動から1校時までの60分授業を実施する。
- ※**期間を決めて短時間授業や60分授業を実施する。**

27

(2) 週時数 1 コマ増【袋井南小・高南小】 成果と課題

教職員の負担の視点、校務運営の視点から

- 週2時間外国語活動を実施したことで、教職員の意識が高まり、充実した研修を行うことができた。
- 研究推進会議を新規設定せずに、**既存の研修会議の内容を精選し、時間を限定することにより、教員の負担を抑えた。**
- 外国語活動の全授業を学級担任とA L TのTT体制としたが、**役割を明確にし、A L Tを効果的に活用するための研修**が必要である。**学級担任とA L Tとの打合せ時間の確保**も課題である。

地域との関係の視点から

- PTA総会において、外国語活動の時数を増やすことや教員研修を推進し授業改善を進めていくことなどを、**地域・保護者に向けて説明を行ったため、理解を得ることができている。**

26

(3) 週時数を1コマ増+15分の活用【長泉小】 成果と課題

子どもの視点から

- 教科の内容によっては、45分授業より60分授業の方が活動時間が保障され、学習効果が上がるとともに、学びを実感することができる。特に**図工や体育では、準備から片付けまでを考慮すると60分授業が効果的である。**
- 短時間授業は、漢字や計算の学習には向いているが、**子どもの学び合いの視点からは、一年間継続して行うのは難しい。**

教職員の負担の視点、校務運営の視点から

- 60分授業は、短時間授業より単元構想や授業構想を立てやすい。**

地域との関係の視点から

- 朝活動の時間を残したことで読み聞かせ等による地域や保護者との連携は続けられる。

28

3 平成30年度の研究

「有徳の人づくり」を進めています
静岡県教育委員会

29

平成30年度 実践校の時間割編成

長泉町立長泉小学校

<週時数>

4～6年生：週28コマ

3年生：前期週27コマ・後期26コマ

<60分授業の実施>

5・6年生：年間12回程度

(図工・体育・総合的な学習の時間)

長泉町立北小学校

<短時間授業(15分)の実施>

3年生以上(週3日)

※曜日ごと教科を割り振らず、年間指導計画との関連から各学年が短時間授業の計画を立てて実施
(基本的に国語・算数)

長泉町立南小学校

<週時数>

4～6年生：週29コマ

3年生：週27コマ

※清掃時間を朝に移動

(帰宅時刻を25分早める)

袋井市立袋井南小学校

袋井市立高南小学校

<週時数>

4～6年生：週28コマ+委員会・クラブ

3年生：週27コマ

31

平成30年度の研究内容

静岡県教育委員会の取組

小学校の授業時数増の対応について、市町教育委員会や小学校ごとに取組の進度が異なる。



実践校を始めとした、教育課程編成・時間割編成及び、外国語教育の充実において効果的な取組を行っている学校の事例収集及び研究を進め、県内の市町教育委員会や小学校に伝達する(研修会講義・県教委発行教育広報紙等)。

30

平成30年度 実践校の研究内容

○外国語活動の授業づくりと校内研修の進め方

○教育課程・時間割編成の効果検証

- ・目指す子どもの姿(育成を目指す資質・能力)が育成されているか
- ・実施した時間割が子どもの学びの質の向上につながっているか
- ・会議・授業準備等、教員に必要な時間が確保されたか
- ・子どもの負担感と教員の多忙化の解消に寄与しているか

32

ご静聴ありがとうございました

